

トピックス

◆ドイツ考古学研究所が札幌大学を訪問

12月17日（火）、ドイツ考古学研究所のマイケ・ワグナー部長が札幌大学を訪問。当会代表で同大学の荒川裕生理事長、本田優子教授、瀬川拓郎教授と意見交換を行いました。荒川理事長が歓迎挨拶に続いて縄文文化とアイヌ文化への思いを語られた後、本田教授がウレシパプロジェクトの取組、瀬川教授は続縄文とアイヌ文化の研究動向を説明。

次いで、ワグナー部長から同研究所がプロイセン王国時代に設立、ビスマルクが外務省管轄にしたことが語られると、ドイツという国の成立前からあったことに一同驚き。その後、当会の阿部アドバイザーから、同研究所が縄文世界遺産登録の応援で映画を作ったことなどを紹介。ワグナー部長と荒川理事長は、これを機に若者の交流が進むことに期待を寄せられ、将来に希望の持てる会談となりました。



札幌大学を訪問（12/17）

動画「北海道の世界」



◆「縄文世界遺産登録3周年記念フェスタ in 豊平館」に出展しました。

11月4日（月・振替休日）、秋色が美しい中島公園内にある重要文化財「豊平館」で、縄文フェスタ（主催：道庁縄文世界遺産推進室）が開催されました。

北の縄文道民会議では、札幌国際大学縄文世界遺産研究室と一緒にブースを出展。小冊子「縄本JOBON」の配布やポストカード、「光る土偶缶バッジ」などの販売、ぬりエコーナーの設置や縄文LOVEなみなさんを紹介するパネル展示を行いました。同じ部屋には、札幌市埋蔵文化財センターによる土器パズル、石狩振興局によるオリジナルキーホルダーづくりなどもあり、たくさん子どもたちが縄文を楽しむ1日となりました。



◆ナチュの森・冬の縄文展開催中（～2/24）

*道民会議も後援しています。

ママ&キッズのスキンケアメーカー(株)ナチュラルサイエンスでは、昨年3月から白老町で「ナチュの森で縄文にであう展」を開催中。11月から今年2月24日までは、冬バージョンとなっています。旧虎杖中学校校舎を活用した展示室の中には、雪が積もった「竪穴住居」と冬の衣服をまとった縄文人。土偶女子・譽田亜紀子さんとイラストレーターのスオアキコさんによる著書『知られざる縄文ライフ』をテーマに展開されているこの展示会ですが、スオさんが急遽、冬

のイラストを書き下ろしてくださったそうです。厳しい冬の様子がよくわかります。



詳細はこちらから

◆「ドニフェス2024」今年も大賑わい！

*道民会議も協力団体になりました。

ドグウとハニワにぐっとくる大人の部活「ドニワ部」。今年や280名を超える部員です。毎年開催される「ドニフェス2024」が11月30日（土）、札幌サンプラザホテルで開催されました。全国の縄文クリエイターの皆さんのオリジナル縄文グッズが勢ぞろい。缶バッジやトートバッグ、手編みのニット帽、人気のどぐるみ、Tシャツや縄文陶芸の品々などに、開場と同時に縄文ファンが殺到し歓声をあげていました。おしゃれメガネづくりや土偶スタンプのコースターづくりワークショップは大盛況！札幌国際大学縄文世界遺産研究室・越田賢一郎先生による講座「なべのおはなし」には、立ち見も！ジワジワときている縄文熱。市民の皆さんの大きな力を感じました。



参加のクリエイターさん全員で記念撮影！

「DOKI! DOKI! JOMON EXPO in 津軽海峡フェリー」を開催しました！

「おしまの縄文」ファンメイキング

DOKI! DOKI! JOMON EXPO in 津軽海峡フェリー

日程 令和6年(2024年)11月10日(日)
場所 津軽海峡フェリー函館フェリーターミナル 2階(函館市港町3丁目19-2)

声優トークショー 事前申込不要 入場無料です！

第1部 13:00~13:30
第2部 15:00~15:30

津軽海峡フェリーが提供するARコンテンツ「カックーと津軽海峡フェリーで巡る北海道・北東北の縄文遺跡群」では、キャラクターたちの掛け合いを通して縄文について学ぶことができます！
このたび、キャラクターの声を担当いただいた3名の声優さんにお越しいただき、縄文文化や、収録時のエピソードなどについてお話いただくトークショーを開催しました！

キャラクター: カックー, カメちゃん, トーヤくん

声優: 河野 ひより, 長野 佑紀, 藤本 彩花
(声の出演者) 河野 ひより 長野 佑紀 藤本 彩花
(司会) FMいるか 佐々木紫パーソナリティ

11月10日は、国宝「中空土偶」のレプリカも展示します！

主催 北海道渡島総合振興局
共催 津軽海峡フェリー株式会社 函館市教育委員会 道南縄文文化推進協議会 北海道新聞函館支社
後援 縄文DOHNNANプロジェクト
協力 函館モノクラフトマーケット 株式会社湖池屋

【お問合せ先】
渡島総合振興局環境生活課
TEL 0138-47-4935

ワークショップ 10:00~16:00
縄文パネル展 11月1日(金)~11月11日(月)

ARコンテンツ詳細 (津軽海峡フェリーHP)
イベント特設HP

※事前申込不要・参加無料

北の縄文

渡島総合振興局では、縄文土偶をモチーフにしたキャラクターが登場するARコンテンツ「カックーと津軽海峡フェリーで巡る北海道・北東北の縄文遺跡群」において、キャラクターの声を担当いただいた3名の声優さんにお越しいただき、縄文文化や、収録時のエピソードなどについてお話いただくトークショーを開催しました！

また、同日、レザークラフトやうちわづくりなどのワークショップも開催しました！

[日程] 令和6年(2024)年11月10日(日)
[場所] 津軽海峡フェリー函館フェリーターミナル(函館市)
[お越しいただいた声優さま]

河野 ひより 様
長野 佑紀 様
藤本 彩花 様



ARコンテンツ詳細
(津軽海峡フェリーHP)

「JOMON 渡島 高校生PRサポーター」(胆振遠征)を実施しました！

地域の縄文文化を支える人材の育成・確保を目的として、北海道南茅部高等学校の生徒を対象に、胆振管内の縄文遺跡の施設見学のほか、縄文文化の知識を活用する機会として、より若い世代である子どもたちにおしまの縄文の魅力を伝える普及活動を実施しました！

施設見学

- ・北黄金貝塚(伊達市)
- ・入江・高砂貝塚(洞爺湖町)



紙芝居・読み聞かせ

- ・社会福祉法人くさぶえ つつじ保育所(伊達市)



[日程] 令和6年(2024)年9月12日(木)~9月13日(金)
[共催] 北海道渡島総合振興局、北海道教育庁渡島教育局
[内容] 高校生による縄文遺跡の施設見学のほか、各保育所等園児に対し、体験コーナーを通じて縄文文化に触れてもらう機会を提供しました。

- ・デジタル紙芝居読み聞かせ(縄文人の一日)
- ・釣り体験コーナー
- ・狩り体験コーナー
- ・土器コーナー など

紙芝居・読み聞かせ

- ・伊達育英学園 認定こども園 京王幼稚園(伊達市)



遺跡とひとを繋ぐ、遺跡でまちを繋ぐ

～北海道縄文のまち連絡会～

旧石器時代から近現代に至るまでの多様で魅力的な遺跡たちを、もっと多くの人知ってもらいたい！という思いで結成された「北海道縄文のまち連絡会」には、2025年1月現在で、30の市町村が加盟しています
北海道縄文のまち連絡会は、2025年も北海道の遺跡を盛り上げる取組を行ってまいります！



北海道縄文のまち連絡会の加盟市町村と代表的な遺跡・展示施設など ※休館日・開館時間などは各施設にお問い合わせください。

加盟市町村		代表的な遺跡	展示施設など
石狩	恵庭市	カリンバ遺跡	恵庭市郷土資料館（恵庭市南島松 157-2）
	石狩市	石狩紅葉山 49 号遺跡	いしかり砂丘の風資料館（石狩市弁天町 30-4）
	江別市	江別古墳群	江別市郷土資料館（江別市緑町西 1 丁目 38）
	千歳市	キウス周墳墓群	千歳市埋蔵文化財センター（千歳市長都 42-1）
	札幌市	丘珠縄文遺跡	丘珠縄文遺跡体験学習館（札幌市東区丘珠町 574-2 他）
空知	深川市	音江環状列石	深川市郷土資料館（深川市西町 3-15 深川市生きがい文化センター）
後志	ニセコ町	曾我北栄環状列石	有島記念館（ニセコ町字有島 57）
	小樽市	忍路環状列石	小樽市総合博物館運河館（小樽市色内 2 丁目 1-20）
	蘭越町	港大照寺遺跡	蘭越町貝の館（蘭越町港町 1401）
胆振	登別市	鷺別 1 遺跡	カント・レラ（登別市登別温泉町 123）
	白老町	アヨロ遺跡	仙台藩白老元陣屋資料館（白老町陣屋町 684-1）
	室蘭市	本輪西遺跡	室蘭市民俗資料館とんてん館（室蘭市陣屋町 2 丁目 4-25）
	伊達市	北黄金貝塚	史跡北黄金貝塚公園 北黄金貝塚情報センター（伊達市北黄金町 75）
	豊浦町	小幌洞窟遺跡	豊浦町中央公民館（豊浦町字船見町 95）
	洞爺湖町	入江・高砂貝塚	史跡入江・高砂貝塚館（洞爺湖町高砂町 44）
	苫小牧市	静川遺跡	苫小牧市美術博物館（苫小牧市末広町 3 丁目 9-7）
渡島	松前町	東山遺跡	松前町郷土資料館（松前町字神明 30）
	森町	鷺ノ木遺跡	森町遺跡発掘調査事務所（森町字森川町 292-24）
	函館市	大船遺跡・垣ノ島遺跡	函館市縄文文化交流センター（函館市臼尻町 551-1）
	八雲町	コタン温泉遺跡	八雲町郷土資料館（八雲町末広町 154）
檜山	今金町	ピリカ遺跡	ピリカ旧石器文化館（今金町字美利河 228-1）
	奥尻町	青苗遺跡	稲穂ふれあい研修センター歴史民俗資料展示室（奥尻町字稲穂 162）
釧路	標茶町	茅沼遺跡第 2 地点	標茶町郷土館 ニタイ・ト（標茶町字塘路原野北 8 線 58-9）
	弟子屈町	屈斜路古丹遺跡	屈斜路コタンアイヌ民族資料館（弟子屈町字屈斜路市街 1 条通 14）
	標津町	伊茶仁カリカリウス遺跡	標茶町ポー川史跡自然公園ビジターセンター（標茶町字伊茶仁 2784）
	釧路市	北斗遺跡	釧路市立博物館（釧路市春湖台 1-7）
宗谷	礼文町	船泊遺跡	礼文町郷土資料館（礼文町香深字ワウシ 958-4 町民活動センター 1 階）
	稚内市	オンコロマナイ 2 遺跡	稚内市北方記念館 開基百年記念塔（稚内市ヤムワッカナイ）
	利尻富士町	利尻富士町役場遺跡	りっぷ館（利尻富士町鷺泊字栄町）
オホーツク	遠軽町	白滝遺跡群	遠軽町埋蔵文化財センター（遠軽町白滝 138-1）

JOMON FESTIVAL 2025

縄文雪まつり

～縄文 LOVE 大集合！～

2.8 (土) 11:00-19:00 2.9 (日) 10:00-17:00
チ・カ・ホ 北3条交差点広場西

3つの展示

- 縄文リレートーク
ぶつつづけの2日間！
わくわくマルシェ
縄文クリエイター
勢ぞろい！
- 中空土偶「カックウ」
(函館市)
- N30 遺跡出土「イケメン」
(札幌市西区)
- 動物形土製品「ビビちゃん」
(千歳市)

主催：北の縄文道民会議
共催：北海道、北海道縄文のまち連絡会
後援：札幌市
協力：道立縄文文化財センター
北海道中央バス
縄文 LOVE な皆さん

この事業はイオン北海道発行の「ほっかいどう道産WAO N」の助成により実施します。

今年もやります！ 2月8日(土)9日(日)チカホ 縄文雪まつり2025

昨年2月にチカホで開催した「縄文雪まつり」。縄文世界遺産登録3周年を記念して、今年も2月8日(土)、9日(日)に開催します！各地で縄文をテーマに活動している学芸員さんや市民グループなど「縄文LOVEな皆さん」が大集合。さっぽろ雪まつりに訪れる道内外、海外からのお客様に、縄文の魅力をそれぞれのスタイルで熱く、あつく伝えます。

- *「3つの展示」:今回は、出土した場所がビックリの人気のお3体。カックウ(函館のじゃがいも畑)、イケメン(札幌市西区)、ビビちゃん(新千歳空港の滑走路)です。
- *恒例の「ぶつつづけ！縄文リレートーク」では、世界遺産のあるマチのほか、全道の遺跡のあるマチ、旧石器時代やオホーツク文化のマチから学芸員さんらが集結するほか、土偶女子・譽田亜紀子さんと阿部千春先生の対談、縄文太鼓の茂呂剛伸さんの演奏など、21ものプログラムを用意しています。
- *「わくわくマルシェ」では、20を超える団体や個人による縄文グッズやスイーツ等がやってきます。

ホームページやSNSなどで最新情報を順次お伝えしていきます。



JOBON 情報 全号をご覧ください。

ドニワ部と道民会議のコラボで発行していた初心者向け小冊子「縄本 JOBON」は、1号から10号までの全号を、道民会議ホームページでご覧いただけます。ダウンロードもできますので、学習会などでご活用ください。



道庁縄文世界遺産推進室から 1月は幕別町に注目！

8月末から幕別町ふるさと館で開催中の「北の縄文リレー展 2024 in 幕別」。1月には2つのセミナーがあります！

- * 1/18(土)縄文セミナー
- * 1/19(日)縄文キッズセミナー

両日とも楽しい企画が盛りだくさん。
詳細はこちらから！



北の縄文道民会議
Hokkaido Jomon Culture Promotion Council



会員の皆様、新年明ましておめでとうございます。

『北の縄文』34号をお届けしました。世界遺産になるまでの長い道のりを共にされた当会議の荒川裕生代表と阿部千春専門アドバイザーによる「新春対談」を掲載しました。「縄文は発展思考ではなくて循環思考。そこに価値がある。」と信じ、登録実現に向け二人三脚で信念を貫かれたお二人に頭が下がります。

2025年の干支「乙巳(きのと・み)」は「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。「巳(へび)」は「復活・再生・不老長寿」そして「縄文」のシンボルです。

北の縄文が世界文化遺産に登録され、この夏4年目を迎えます。私ども編集局一同は今年も「縄文パワー」全開で頑張ってまいります。



編集・発行：世界文化遺産登録の縄文遺跡群と全北海道の縄文遺跡群の活用を推進する道民会議（北の縄文道民会議）

編集 谷 紘道、北海道縄文世界遺産推進室

TEL：011-221-1122 FAX：011-221-0117 <http://www.jomon-do.org/> E-mail ebisutani@chuo-bus.co.jp